

「認知症フレンドリーシティ鈴鹿」宣言について

みんなが参画して知恵を出し合い、安心して暮らしやすい地域をつくることで、認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしく希望をもって日常生活を過ごすことができるよう「認知症フレンドリーシティ鈴鹿」を宣言します。

1 目的

鈴鹿市と民間事業者や関係機関、関係団体、ボランティア等の様々な主体が協働で認知症の人を含む誰にもやさしい地域づくりを推進していくことができるよう、市民に認知症フレンドリーの周知と参画を促します。

2 宣言文

「認知症フレンドリーシティ鈴鹿」宣言

【基本理念】

認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしく希望をもって日常生活を過ごすことができる地域を目指すため、「認知症フレンドリーシティ鈴鹿」を宣言し、みんなが参画できる認知症施策を推進します。

【目指す姿】

認知症の人と家族が暮らしやすい地域をつくるためには、医療・介護関係者のみならず、地域住民、学校、企業などを含む地域のすべての人が認知症を正しく理解し、認知症の人と家族の視点を重視して進めることが重要です。

みんながつながり合い、知恵を出し合い、できることに取り組むことで、認知症の人を含む誰もが安心して暮らしやすい鈴鹿市を目指します。

【取組の方向性】

- 1 認知症の人の想いが尊重され自分らしく暮らすことができるよう、認知症の人とともに多様な主体が参画し、連携・協働により認知症フレンドリーな地域づくりを進めます。
- 1 認知症の本人同士・家族同士がつながることができる居場所づくりを進めます。
- 1 認知症の理解を深め、認知症の人や家族が安心して希望をもって暮らすことができる地域の応援者を増やします。

令和4年12月9日

鈴鹿市長 末松 則子